

管理目標と予後

東海大学医学部附属東京病院呼吸器内科

海老原明典，桑平 一郎

KEY WORDS

- ACO
- COPD
- 喘息
- オーバーラップ
- 予後

本稿では，GINA2016の提唱に基づき，用語を喘息とCOPDのオーバーラップ(Asthma and COPD Overlap；ACO)との表現に統一する。

I. 管理目標について

まず，日本呼吸器学会のCOPD診断と治療のためのガイドライン¹⁾から，管理目標を引用する。COPD患者では喘息患者と異なり常に気流閉塞があり，かつその病態は進行性である。このような病態の特徴から，ガイドラインでは管理目標を①～⑥のように定めている。

- ① 症状およびQOL (quality of life：生活の質)の改善
- ② 運動耐容能と身体活動性の向上および維持
- ③ 増悪の予防
- ④ 疾患の進行抑制
- ⑤ 全身併存症および肺合併症の予防と治療

⑥ 生命予後の改善

一方，喘息の管理目標²⁾は以下に示す①～⑦である。すなわち，

- ① 健常人と変わらない日常生活が送れること。正常な発育が保たれること。
- ② 正常に近い呼吸機能を維持すること。PEFの変動が予測値の20%未満。PEFが予測値の80%以上。
- ③ 夜間や早朝の咳や呼吸困難がなく十分な夜間睡眠が可能なこと。
- ④ 喘息発作が起こらないこと。
- ⑤ 喘息死の回避。
- ⑥ 治療薬による副作用がないこと。
- ⑦ 非可逆的な気道リモデリングへの進展を防ぐこと。

COPDと喘息の双方の病態を有するACOの管理目標については，以上の項目を重ね合わせる必要がある。すなわち，症状を改善させ，日常生活や社会生活に支障をきたすことなく，予定外の受診をなくし，呼吸機能の安定を図ることである。そのうえで，身体活

Goals of management and prognosis.

Akinori Ebihara (准教授)
Ichiro Kuwahira (教授)